



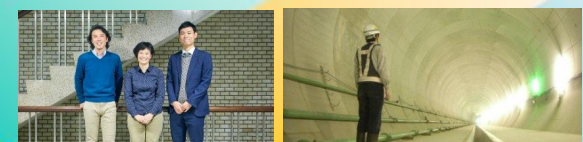
A-PLAT
気候変動適応情報プラットフォーム
CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM



令和8年度第1回福岡県気候変動適応推進協議会
令和8年5月25日(月)

S-24「気候変動適応の社会実装に向けた総合的研究」

チャットボットを活用した熱中症アプリの分析データ基盤



国立環境研究所 気候変動適応センター
福岡 靖明

目的・目標

《目的》気候変動適応が社会に実装されるために必要な科学的知見の創出

- 適応に関する目標の設定 《目的》
- 目標達成に十分な適応策選定に係る方法論の構築 《選択肢・コスト・便益》
- 長期的な適応戦略策定に係る方法論の構築 《探索》
- 適応策実践における諸課題の解決 《解釈》

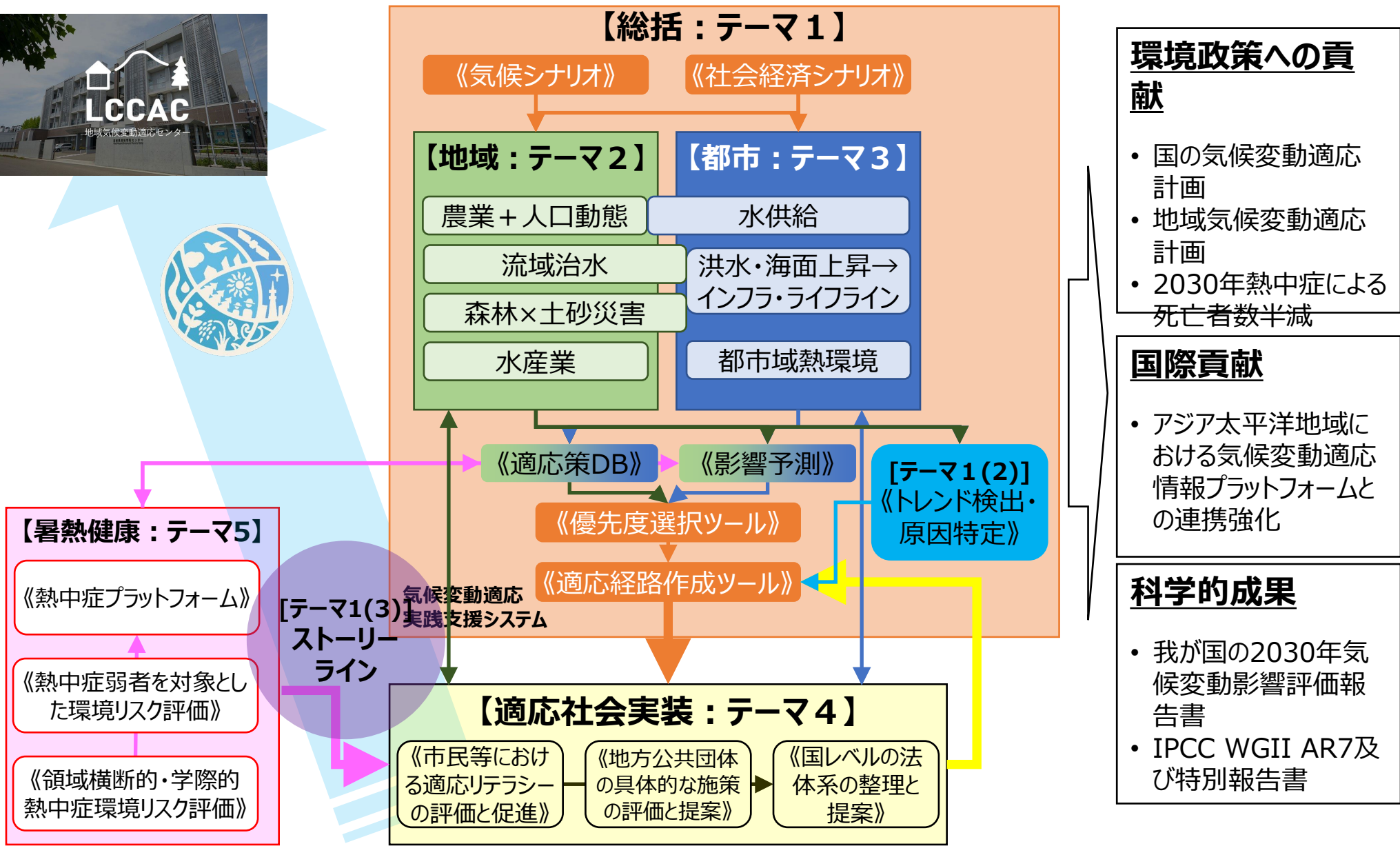
エビデンスに基づく政策立案, 他の施策とのシナジー・トレードオフ, 法や社会制度との関係, リスクの受容, 適応策実施に係る合意形成など



《目標》適応策の実践を支援する「気候変動適応実践支援システム」の開発

- 地域の現状を考慮し**将来の様々な気候変動リスク**に応じた**適切な施策の選択・実践**に関する**枠組み**や**方法論の構築**
- 様々なステークホルダーが議論可能となるよう, **分野横断で複数の適応策の選択・実施手順 (適応経路) を検討する手法**及び作成した**ツールやマニュアル等はA-PLAT等を通じて提供**
 - ① 適応策データベース (コスト, 効果, 限界, 実施にかかる時間, 適応策間の相乗効果やトレードオフ, など)
 - ② 複数分野・項目を対象とした1kmメッシュの**全国影響予測結果群** (適応策の効果の有無を含む)
 - ③ ①と②を統合した、**分野横断の適応経路推計ツール**
- 将来の熱中症対策の研究基盤「**熱中症プラットフォーム**」の開発
- **文科省の気候変動予測先端研究プログラム**や**推進費・科研費**など他の**研究プログラムとの連携・成果の活用**

課題の全体概要



環境政策への貢献

- 国の気候変動適応計画
- 地域気候変動適応計画
- 2030年熱中症による死亡者数半減

国際貢献

- アジア太平洋地域における気候変動適応情報プラットフォームとの連携強化

科学的成果

- 我が国の2030年気候変動影響評価報告書
- IPCC WGII AR7及び特別報告書



気候変動適応の社会実装に向けた総合的研究

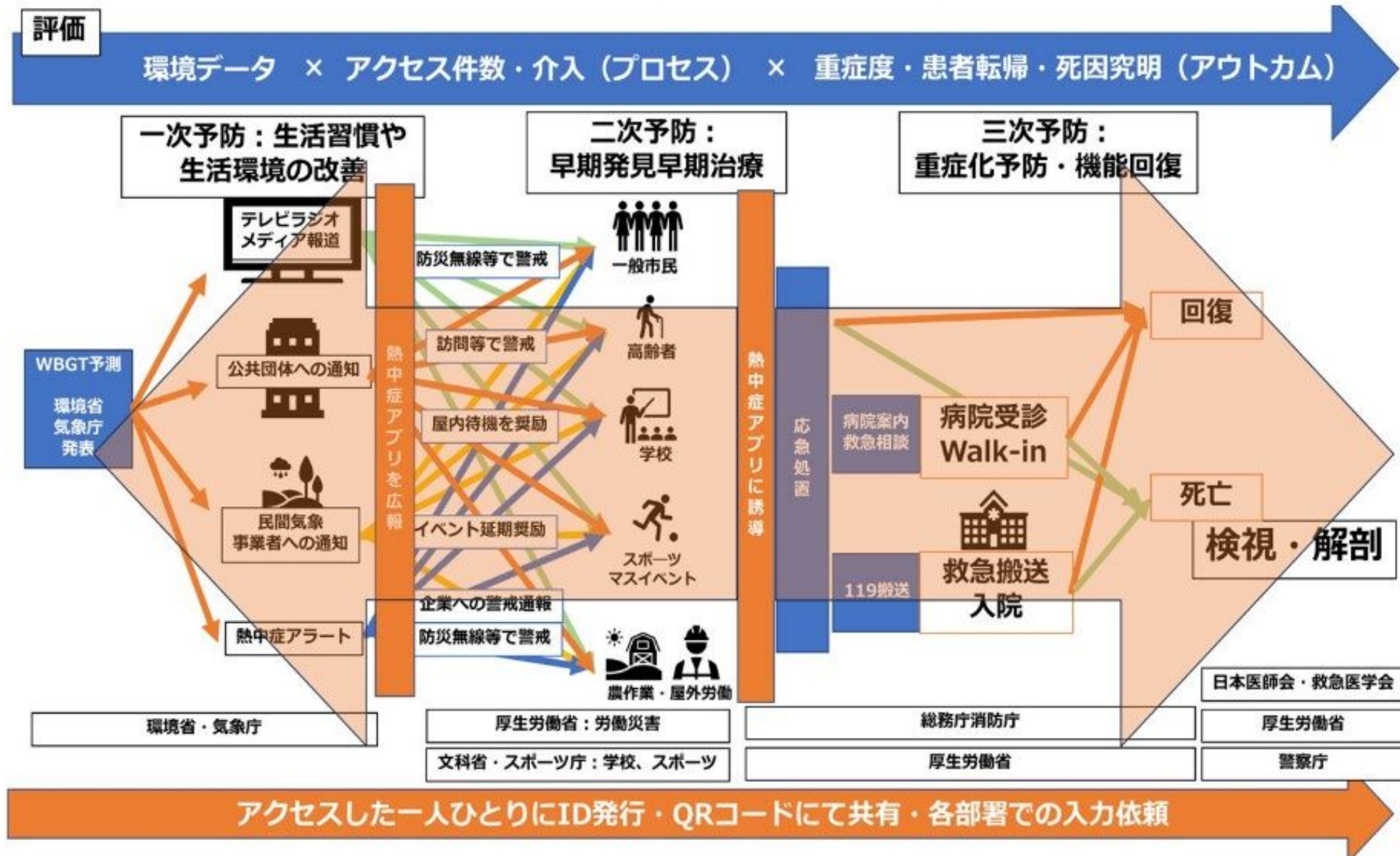
Comprehensive research on social implementation of climate change adaption

テーマ5： 気候変動に伴う健康影響に関する データ収集・データドリブンの解析

日本医科大学大学院医学研究科 救急医学分野

研究代表者：横堀 将司

本サブテーマでは、ポピュレーションアプローチ（一次・二次予防）とハイリスクアプローチ（三次予防）を有機的に組み合わせた影響評価・適応のデータを学際的にシェアし、社会の適応行動を促進する方略を検討する。



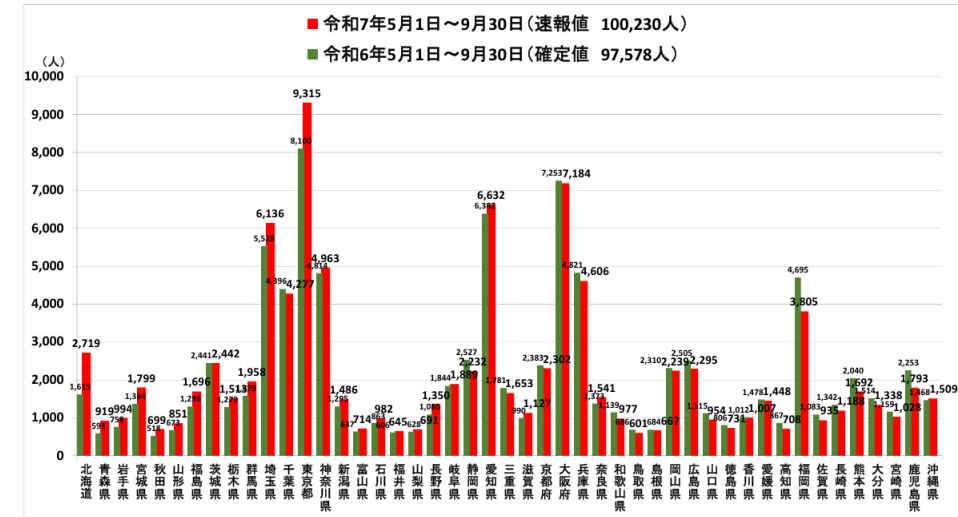
研究の背景：熱中症のリアルワールドデータ収集の問題点

- ✓ 暑熱による熱中症の**死亡数は増加** “超”災害級
- ✓ 国民に**一次予防（ポピュレーションアプローチ）**を促すことが重要
- ✓ 暑熱による**健康被害の実態把握は即時性に乏しい**
- ✓ 熱中症警戒情報の発表は**WBGTの絶対値のみにより判断**
- ✓ **軽症患者の行動様式、発症因子は不明確**

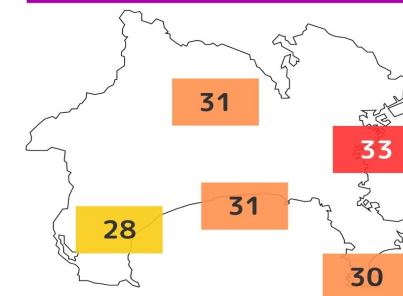
健康被害把握のための情報

種類	名称	提供機関	提供までの期間
救急搬送者数	熱中症情報救急搬送状況	総務省消防庁	2～9日（週1回速報）
死亡者数	人口動態統計	厚生労働省	約5か月（速報値）
重症患者数	HEATSTROKE STUDY	日本救急医学会	半年
入院患者数	レセプトデータ	厚生労働省	2年以上
死亡者数	検死報告	監察医	6～13日後（週1回速報）

令和7年 都道府県別熱中症による救急搬送人員
前年同時期との比較（累計：5月1日から9月30日）

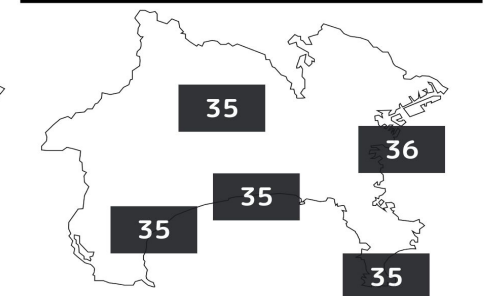


熱中症警戒アラート



いずれかの地点でWBGT33以上

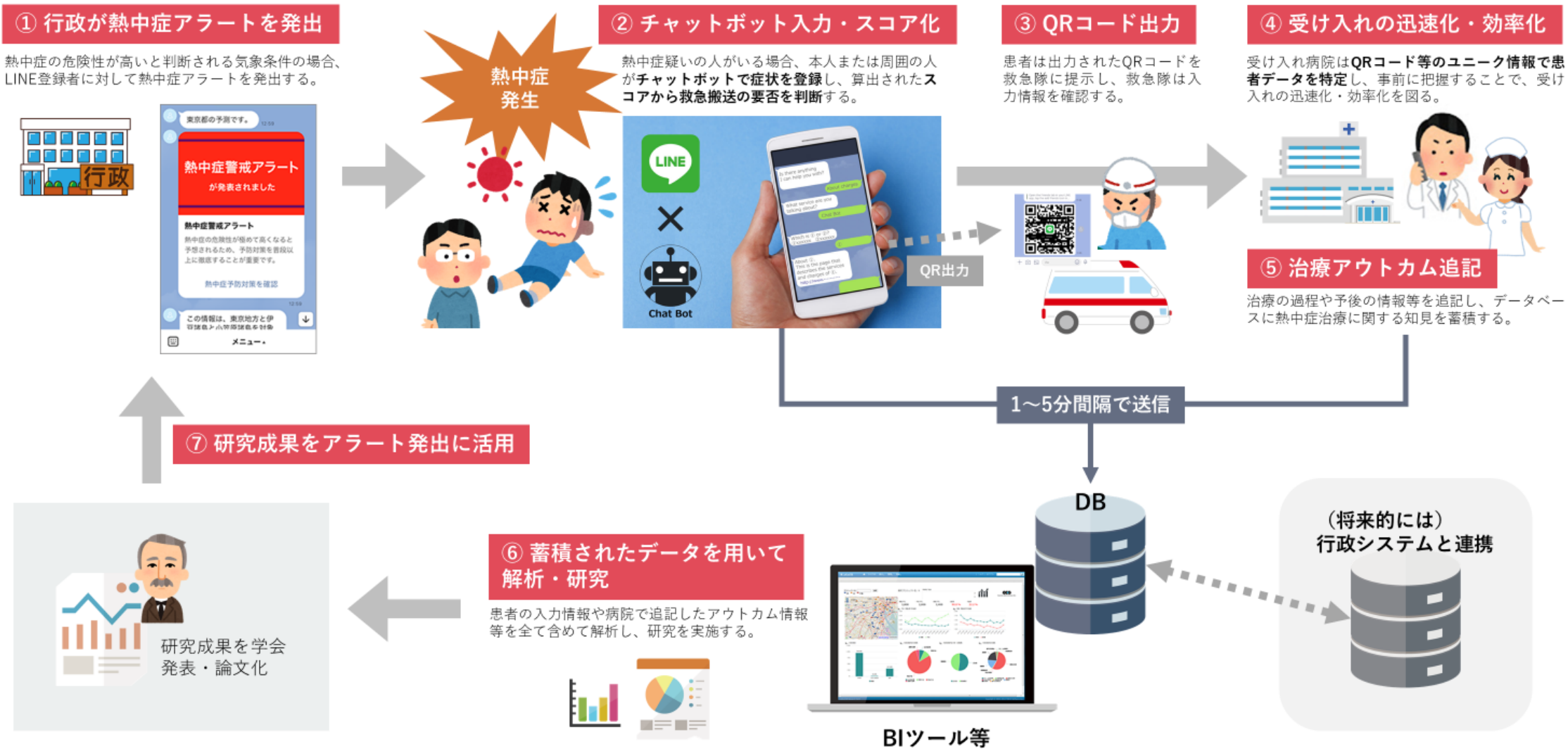
熱中症特別警戒アラート



すべての地点でWBGT35以上



チャットボットを活用した熱中症アプリの分析データ基盤の概要〔全体像〕



アプリ入力者(患者)様のメリット

- ご自身の症状や元の状態(持病や介護度等)を入力することにより、現在の重症度がわかり、適切な対応方法に導かれる。
- 必要に応じて、近くの医療機関等の行き方が案内される。

自治体様のメリット

- 熱中症発症者数・発症場所が表示可能であり、例えば本日熱中症の危険がかなり高いのかや、イベントで多くの方が熱中症発症しているなどが即時的・視覚的に確認できる。
- 自治体における熱中症の発症傾向(時期、場所、患者特性等)が解析できる。